

平成 21 年 12 月 17 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長 川島 敦

(コード番号：4321 東証一部)

問い合わせ先 取締役経営企画担当 吉川 泰司

電 話 番 号 (03) 3519-2530

アセットマネジメント業務の再編及び特別利益（単体）の発生について

当社は、平成 21 年 9 月 17 日付「中期経営計画の進捗状況とアセットマネジメント業務の強化について」及び平成 21 年 12 月 14 日付「アセットマネジメント業務の強化に向けた施策の進捗について」と題するプレスリリースにおいて当社グループのアセットマネジメント業務再編についての検討状況を発表いたしました。平成 21 年 12 月 17 日開催の当社取締役会において、以下のとおり、ケネディクス・アセット・マネジメント株式会社を中心にアセットマネジメント業務を再編することについて決議するとともに、これに伴い平成 21 年 12 月期の単体決算におきまして特別利益を計上することとなったため、お知らせいたします。

記

1. アセットマネジメント業務再編の概要

アセットマネジメント業務強化の観点から、当社グループのアセットマネジメント業務再編（以下「本業務再編」）として、アセットマネジメント業務統括会社としての機能を有するケネディクス・アセット・マネジメント株式会社（以下「KDAM」）を設立し、ケネディクス不動産投資法人の資産運用会社であるケネディクス・リート・マネジメント株式会社（以下「KDRM」）と主に年金基金向け等の私募ファンドを運用するケネディクス・アドバイザーズ株式会社（以下「KDA」）の両子会社を、KDAM の傘下に置きます。これにより、不動産の保有・賃貸運営・仲介・コンサルティング・開発・債権投資マネジメントを始めとする広範な業務領域を担うケネディクス株式会社（以下「KDX」）とは業務運営面で一線を画し、アセットマネジメント業務に特化させる体制の構築を図るものです。KDAM は、KDRM と KDA の業務運営に係るリスク管理、内部統制及び財務戦略等のサポート機能並びに資金調達機能を担います。KDAM は、KDX から KDRM 及び KDA の株式を取得するに際して、主要取引金融機関等より融資を受ける予定です。本業務再編に伴い、KDAM から KDX へ KDRM 及び KDA の株式の譲渡対価が支払われることになり、KDX のキャッシュポジション改善に資することとなります。

KDAM は KDX の 100%出資子会社として設立されましたが、アセットマネジメント業務における更なる競争力強化や信用補完等を目的として、本業務再編後は、KDX は KDAM 株式の 85%を保有し、残りの 15%については KDX の業務提携相手である株式会社マックスリアルティ（以下「マックスリアルティ」）が保有いたします。また、KDX とマックスリアルティは、更なる関係強化を目的として、KDX によるマックスリアルティへの一部出資（15%程度を予定）も現在検討しており、詳細が固まり次第公表する予定です。本業務再編を通じて、専門的な不動産運用ノウハウ・資金調達ノウハウ・情報ネットワークなどを有するマックスリアルティと当社グループの関係を強化することにより、淘汰・選別が進む不動産アセットマネジメント業界のなかで、当社グループがより優位なポジションを早期に確立することが可能であると考えております。尚、本業務再編後も KDAM は引き続き KDX の連結子会社となるため、KDRM

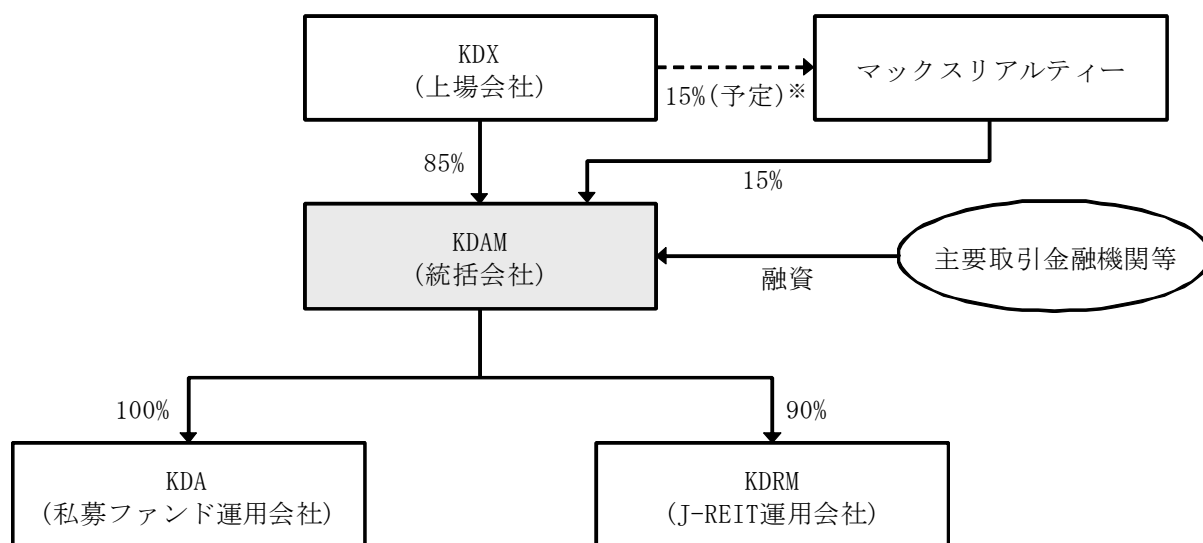
及び KDA も引き続き KDX の連結対象となります。また、KDAM に関する重要事項の決定権は KDX が引き続き有することになります。

マックスリアルティ及びその業務提携の概要については、平成 21 年 11 月 27 日付プレスリリース「株式会社マックスリアルティとの業務提携に関するお知らせ」をご参照ください。

【ケネディクス・アセット・マネジメント株式会社の概要】

(1) 名 称	ケネディクス・アセット・マネジメント株式会社
(2) 所 在 地	東京都港区新橋二丁目 2 番 9 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 川島 敦
(4) 事 業 内 容	アセットマネジメントの監理業務
(5) 資 本 金	4 億円 (平成 21 年 12 月 17 日現在)
(6) 設 立 年 月	平成 21 年 10 月
(7) 決 算 期	12 月
(8) 純 資 産	8 億円 (平成 21 年 12 月 17 日現在)
(9) 総 資 産	8 億円 (平成 21 年 12 月 17 日現在。ただし平成 21 年 12 月中に予定されている KDRM 及び KDA の株式取得後の総資産は約 150 億円となる見込み。)
(10) 出 資 比 率	ケネディクス株式会社: 85%、株式会社マックスリアルティ: 15% (平成 21 年 12 月 17 日現在)

【アセットマネジメント業務再編のストラクチャー】



※ KDX からマックスリアルティの一部出資の記載部分は現時点の予定であり、今後変更の可能性あります。

2. KDAM に対する融資の概要 (予定)

(1) 金 額	約 140 億円
(2) 期 間	約 5 年間
(3) 借 入 先 金 融 機 関	株式会社三井住友銀行 他

3. 日程

(1)	KDAM に対する KDA 株式及び KDRM 株式の譲渡に関する取締役会決議日	平成 21 年 12 月 17 日
(2)	KDAM に対する KDA 株式及び KDRM 株式の譲渡の実行	平成 21 年 12 月中 (予定)

4. 特別利益の発生

本業務再編に伴い、当社が保有する KDA 株式及び KDRM 株式を KDAM に譲渡することにより、単体決算において株式譲渡益 13,621 百万円を特別利益に計上いたします。なお、当該株式譲渡益は連結決算上内部消去されるため、連結決算に与える影響はありません。

5. 業績に対する影響

現在発表しております平成 21 年 12 月期通期個別業績予想数値に与える影響については、本特別利益以外の見通しが与える影響と合せて現在精査しており、詳細が確定次第公表いたします。

以上